

2014. 9. 7



NPOフォーラム・だより No.6 1

NPO法人安房文化遺産フォーラム 代表 愛沢 伸雄

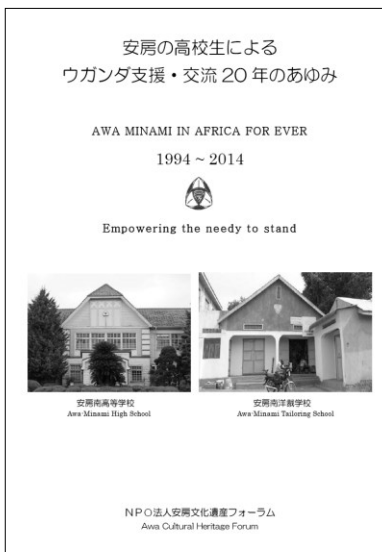
〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

会員・寄付募集中! ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

安房の高校生によるウガンダ支援活動が 20 年を迎えました。

～地球の裏側にある「安房南洋裁学校」との友情～



旧安房南高校では平和学習が契機となって、内戦でエイズが蔓延し孤児があふれたウガンダへの支援活動が 1994 年から始まり、2000 年には現地に安房南洋裁学校という職業訓練施設が開かれました。統廃合により安房南高校は 100 年の女子教育に幕を閉じましたが、ウガンダ支援活動は、安房高校 JRC(青少年赤十字)部を経て、安房西高校 JRC 部へと今なお引き継がれています。

このたび交流 20 年のあゆみを冊子にまとめました。支援を受けたウガンダの子どもたちからは、「日本の高校生の支援がなかったら、今の自分はないだろう」「贈られたピアノと出会って(盲目的)僕の人生が大きく変わった」など感謝のメッセージが届いています。一方、日本側の卒業生たちも、「自分たちの活動がこんなに引き継がれていて驚いた」「私にとってウガンダ支援は、“与えた”活動ではなく、自分のためになっている」「安房南の名前が地球の裏側に残っていて嬉しい」などという声が聞かれました。

残念ながらセンバラ氏の来日は叶いませんでしたが、20周年を記念して、元南高美術教師で彫刻家の船田正廣氏が制作した安房南高校の女生徒像(ブロンズ)をウガンダに寄贈することになりました(写真は塑像)。安房西高校 JRC 部からは文化祭のバザー売上・募金 49,231 円を、館山信用金庫からは“たてしん”ふるさと応援ファンドとして 10 万円の助成をいただきました。安房・平和のための美術展実行委員会より例年のようにチャリティ基金から支援金をいただけることになっています。厚く御礼申し上げます。ウガンダへの支援金はなるべく従来どおりに送りたいと思いますので、20 年記念誌および記念像送料代金の補足分を、皆様にご協力いただければ幸いです。ご寄付くださった方には、ウガンダの子どもが描いたポストカードをプレゼントします。上記郵便口座お振込の際、備考欄に「ウガンダ支援」と補記をお願いします。

* 館山病院感謝祭～ウガンダ支援バザー

◎ 9月21日(日) 10:00～14:00

地域に根づいて 123 年を迎える館山病院の感謝祭は、踊りや音楽を楽しむ交流の場。その一隅でウガンダ支援バザーを実施、スタッフ募集中。

■ ヘリテージまちづくり講座:

* 関澤明清(近代水産業の先駆者)と館山の殖産興業ネットワークを学ぶ

◎ 9月18日(木) 13:30～15:30 渚の博物館・レクチャールーム

講師:吉道悦子氏(金沢工業大学) 参加費無料

今年夏、石川県の金沢ふるさと偉人館で関澤明清展が開催された。加賀藩生まれで、幕末から渡英し、維新後は政府事務官として欧米の万博に参加し、近代水産業の振興と水産教育を推進した。水産伝習所長を退いた後は自ら館山に居を構え、遠洋捕鯨などに従事しており、ともに活躍した弟の鑄木余三男は、赤門整形外科内科の鈴木勝・前院長の祖父である。館山では全国的に注目すべき殖産興業も多く、豊かな人脈でネットワークされていることが判明してきた。

* 小原家住宅(旧小原金治邸)の保存と活用を考える会

◎ 10月7日(火) 13:30～15:30 小原家住宅(館山市南条) 要予約 定員 20 名

講師:栄山慶二氏(文化財建造物修復専門家)

椿の里で知られる小原家住宅は、築 160 年の歴史的建造物である。映画『赤い鯨と白い蛇』では、離れが撮影の舞台として使われた。見学会を兼ねて、その文化財的価値を学び、今後の保存・活用について検討する。

■ 第20回安房地域母親大会

◎ 9月28日(日) 12:00~16:30 館山市コミュニティセンター／南総文化ホール小ホール 資料代 500 円

ビキニ環礁の原水爆実験を機に、スイスでの母親大会に日本から代表が参加したことを機に、1955年に第1回日本母親大会が開かれ、「生命を生み出す母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」というキャッチフレーズで各地に広まり、安房地域では1995年から始まった。

第20回記念大会は、未来に向け自分にできることのヒントを見つける機会として、第一部は、市民活動を紹介し合う交流ブースのほか、話し合いのひろばを3つ設ける。ひろば①「いのちをつなぐ食」では伊藤真美(花の谷クリニック院長)・根岸雄子(助産院ねむねむ)・八木幸枝(やぎ農園)の三氏、ひろば②「困った!を笑顔に変える子育て」では沼倉幸子氏(森の幼稚園はっぴー代表)、ひろば③「“平和の文化”の種を育もう」では天羽道子(かいた婦人の村名誉村長)・李政美(歌手)の二氏が話題提供をしながら、会場との意見交換をする。第二部では日韓の架け橋となっている在日二世の歌手・李政美(いぢょんみ)さんを迎え、コンサートを開く。男性でも独身者でも参加は大歓迎。交流ブースのみ見学は資料代不要。第一部のみ保育あり要予約(100円)。

12:00	コメンセン	【第一部】			交流ブース
13:00		ひろば① いのちをつなぐ食	ひろば② 子育て	ひろば③ 平和の文化	市民団体の展示 ワークショップ
14:45		休憩・移動			
15:00	南総ホール	【第二部】			
15:40		各ひろば報告 房州弁で憲法 13 条 李政美コンサート ~つながるいのち~			

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

- 9月10日(水) 12:45~13:45 南房総市立富浦中学=座学
- 9月11日(木) 10:00~11:40 千葉県おやこ劇場 38名=座学・赤山
- 9月12日(金) 11:00~17:00 共産党文京地区委員会:民青同盟学生班7名=座学・基本・かいた村
- 9月24日(水) 10:00~15:00 コープみらい・生協ピースの会 90名=講演(天羽氏)・赤山・かいた村
- 10月 1日(水) 東葛飾高校リベラルアーツ講座 25名=座学・戦跡基本・かいた村
- 10月 2日(木) " =布良・大巖院「四面石塔」
- 10月 4日(土) 9:30~12:30 墨田退職教職員の会 15名=座学・赤山・掩体(布良)
- 10月 5日(日) 9:30~12:00 赤山ガイドサービス
- 10月10日(金) 9:30~16:00 渋谷幕張中学1年=戦跡コース/里見コース/漁業コース
- 10月15日(水) 15:30~16:30 わせがく高校1年 129名=座学
- 10月16日(木) 9:30~11:30 " =赤山・掩体・米軍上陸地
- 10月25日(土) 11:00~14:30 九条の会あさひ 20名=大房岬・桜花基地・震洋基地
- 11月 2日(日) 9:30~12:00 赤山ガイドサービス
- 11月9日(日) 11:00~16:00 東京土建西東京支部 40名=座学・赤山・かいた村

* かいた婦人の村 ボランティア募集

- 草刈り 9月10日(水) 8:30~12:00
- バザー 9月19・20日(金土) 8:30~14:00 頃

毎月第一日曜の午前
は、個人・小グループ
向けに赤山地下壕のガ
イドサービスをしてい
ます。

NPO会員は都合のい
い時に、ツアー同行OK
です。希望日を事務局
まで連絡下さい。

青木繁「海の幸」オマージュ展のご報告

小谷家住宅の保存のため、全国の画家によるNPO青木繁「海の幸」会が主催で、全国巡回のチャリティを開催しています。8月には館山市・教育委員会との共催で館山展を開き、館山美術会の協賛で地元安房地域の画家の作品も出品されました。青木繁「海の幸」誕生の家と記念碑を保存する会を通じて、コミセン会場の受付をお手伝いいただき、ありがとうございました。公共施設のため会場での販売はありませんでしたが、個別の希望者により 11 点約80万円の売上がありました。三等分し、作家への画料、NPO「海の幸」会の保存基金、青木繁保存会の事務局(NPO フォーラム)の保存に関する諸経費として有効に使われます。

引き続き、9月6日~21日は福岡展、12月6日~21日は田園調布展が開かれます。

冊子発行!

「青木繁が愛した神話のふるさと布良
~『海の幸』誕生の漁村のまちづくり」

7月27日に開催した青木繁「海の幸」フォーラムでは、地元ならではの視点から青木作品の新解釈がたくさん生まれました。その報告集として、森山秀子(石橋財団石橋美術館学芸課長)、吉武研司(NPO 青木繁「海の幸」会理事、女子美術大学教授)、池田恵美子(NPO フォーラム)、小谷福哲(小谷家当主)、愛沢伸雄(NPO フォーラム)らが執筆。『海の幸』誕生の背景に迫ります。300円

● NPOフォーラム会員種別のご案内

- A会員:年会費 2,000 円(総会出席権あり)
- B会員:年会費 個人 1,000 円(ニュースのみ送付)
法人 10,000 円